

## 梅雨前線と低気圧による大雨

令和 6 年（2024 年）7 月 23 日～7 月 26 日

（これは速報であり、数値等は変わることがある）

7 月 23 日から 26 日にかけて、北日本に停滞した梅雨前線や前線上の低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が非常に不安定となり、北日本を中心に大雨となった。7 月 23 日から 7 月 26 日までの総降水量は山形県で 400 ミリを超え、平年の 7 月の月降水量を大きく上回る記録的な大雨となった所があった。また、北日本では平年の 7 月の月降水量を超えた地点があった。

23 日から 24 日にかけては、梅雨前線上に発生した低気圧が北海道付近を通過した。この影響で、北海道地方では大雨となった所があり、1 時間降水量や 24 時間降水量が観測史上 1 位の値を更新した地点があった。

その後、24 日から 26 日にかけては、梅雨前線が北日本を南下し、東北地方に停滞した。この影響で、山形県や秋田県では断続的に雷を伴った非常に激しい雨や局地的に猛烈な雨が降り、複数の地点で 24 時間降水量が観測史上 1 位の値を更新するなど、記録的な大雨となった。特に、山形県では 25 日昼過ぎと夜遅くに線状降水帯が発生するなど災害発生の危険度が急激に高まり、気象庁は、山形県を対象に 25 日昼過ぎと夜遅くの 2 回大雨特別警報を発表した。これらの大雨により、北日本では東北日本海側を中心に、土砂災害や河川の増水や氾濫、低地の浸水による被害が発生した。

なお、この期間は北日本から西日本にかけて大気の状態が不安定であったため、発達した積乱雲により、突風の被害が発生した所があった。

本資料は、当該期間における観測データや防災気象情報の発表状況を取りまとめたものである。

## 目次

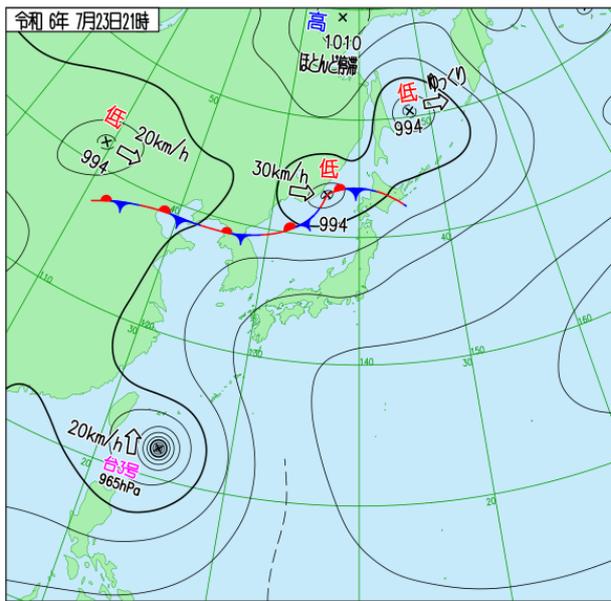
1. 気象状況.....	3
(1) 日ごとの気象経過.....	3
(2) キキクル（危険度分布）.....	7
2. 防災気象情報の発表状況.....	10
(1) 特別警報.....	10
(2) 顕著な大雨に関する気象情報.....	10
(3) 記録的短時間大雨情報.....	10
3. 雨の状況.....	11
(1) 降水量の期間合計値分布図（7月23日～7月26日）.....	11
(2) 降水量の期間合計値と月平年値の比（7月23日～7月26日）.....	12
(3) 降水量時系列図.....	13
4. 降水量の多い方からの順位 10位まで（7月23日0時～7月26日24時）.....	14
5. 観測史上1位の値の更新状況.....	15
6. その他.....	16
(1) 竜巻等突風の発生状況（7月23日～7月26日）.....	16
(2) 資料の説明.....	18

# 1. 気象状況

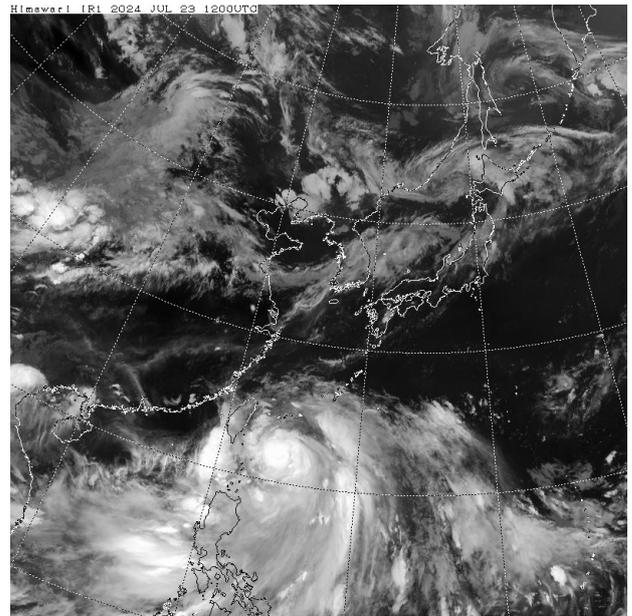
## (1) 日ごとの気象経過

・7月23日

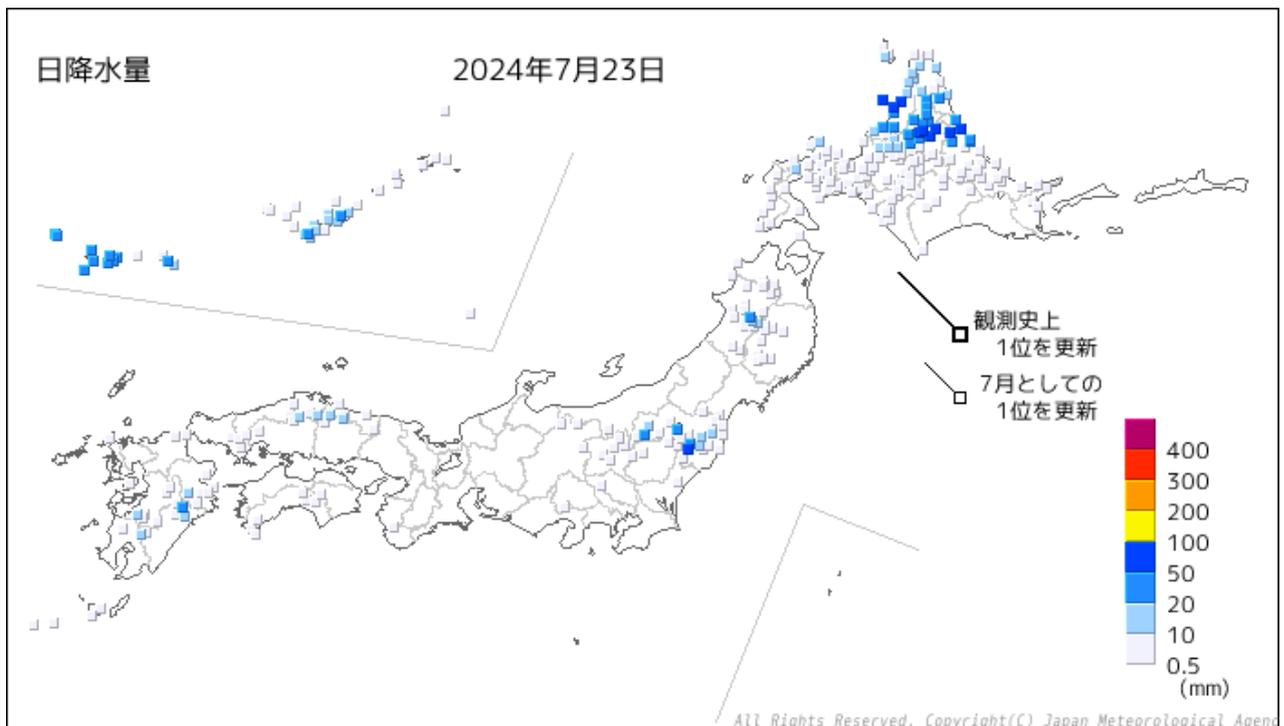
梅雨前線が日本海から北日本にのび、前線上に発生した低気圧が日本海を東へ進んだ。この前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、北日本から西日本では大気の状態が非常に不安定となった。北海道では雷を伴った激しい雨が降り、大雨となった所があった。



地上天気図 (7月23日21時)



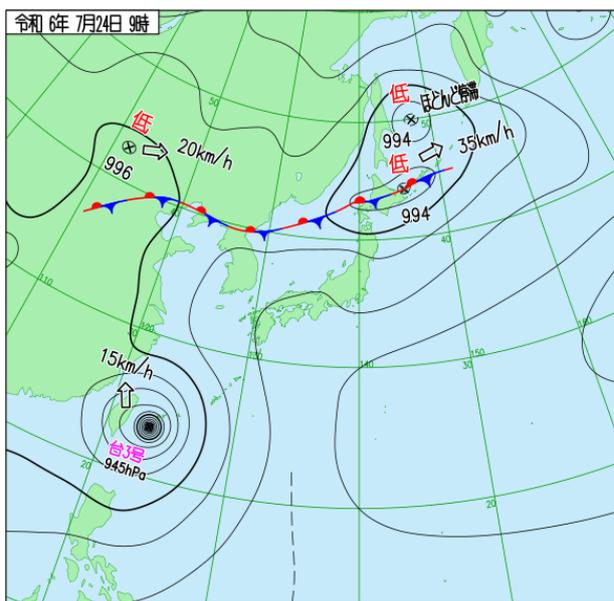
衛星赤外面像 (7月23日21時)



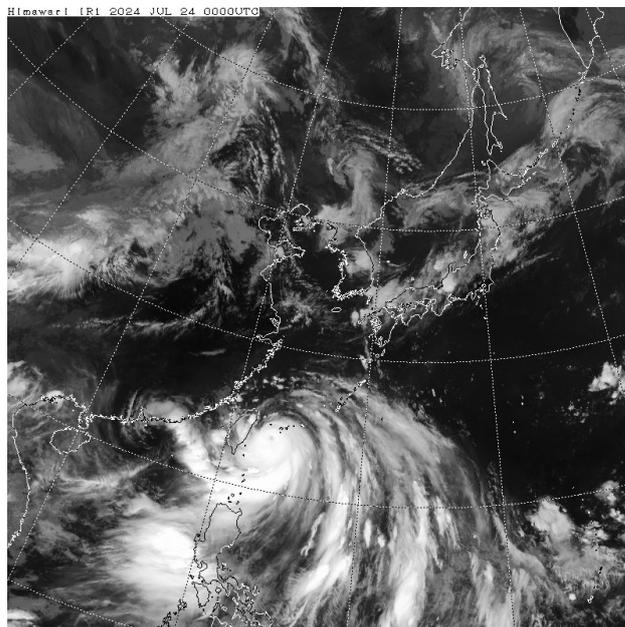
日降水量分布図 (7月23日)

・ 7月24日

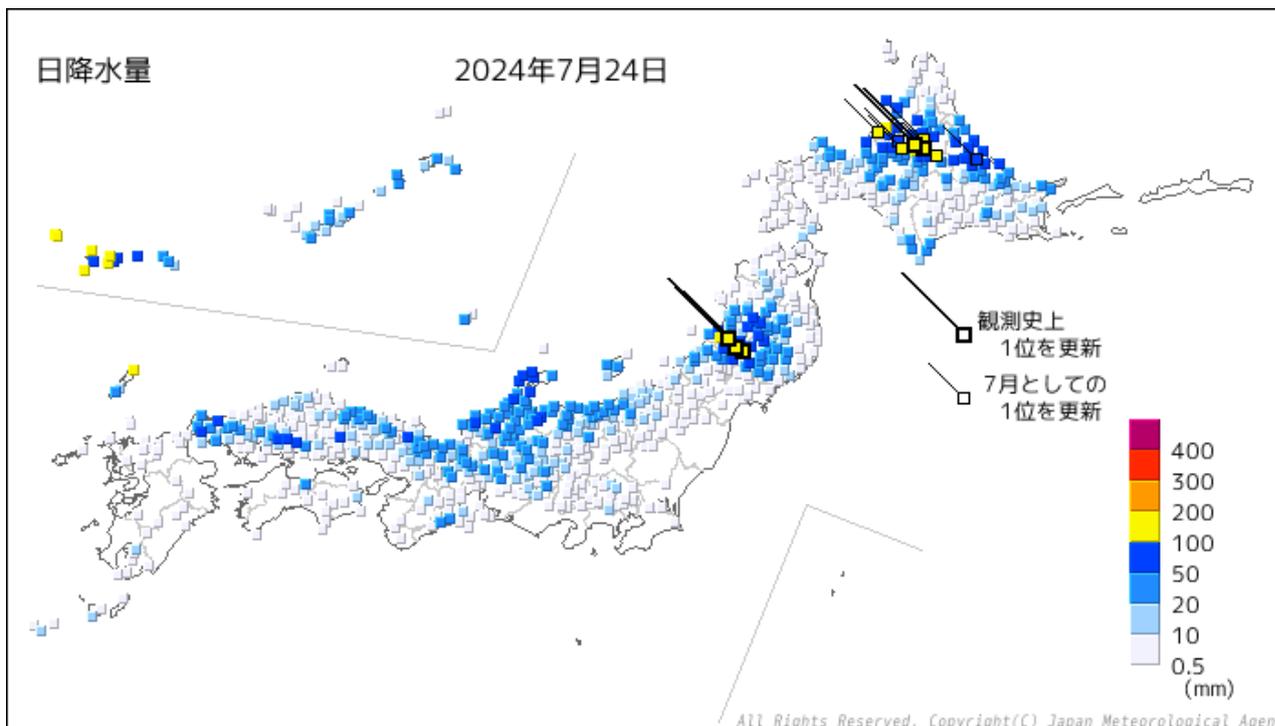
前線上の低気圧が北海道を通過し、その後、梅雨前線は北日本を南下した。前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、北日本から西日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となった所があった。



地上天気図 (7月24日09時)



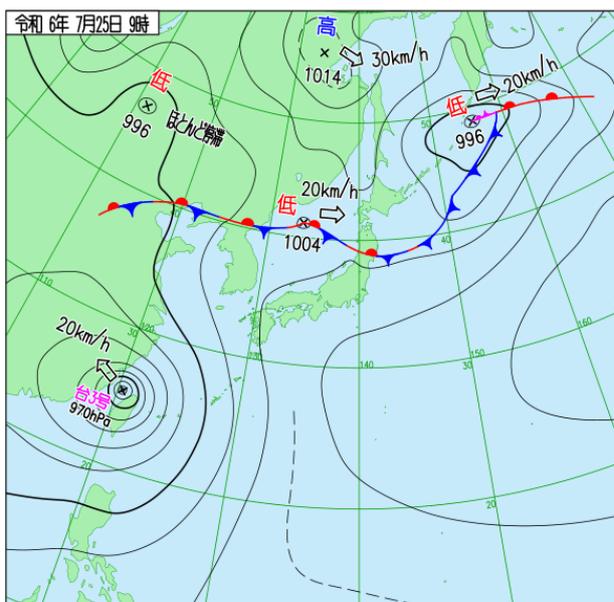
衛星赤外面像 (7月24日09時)



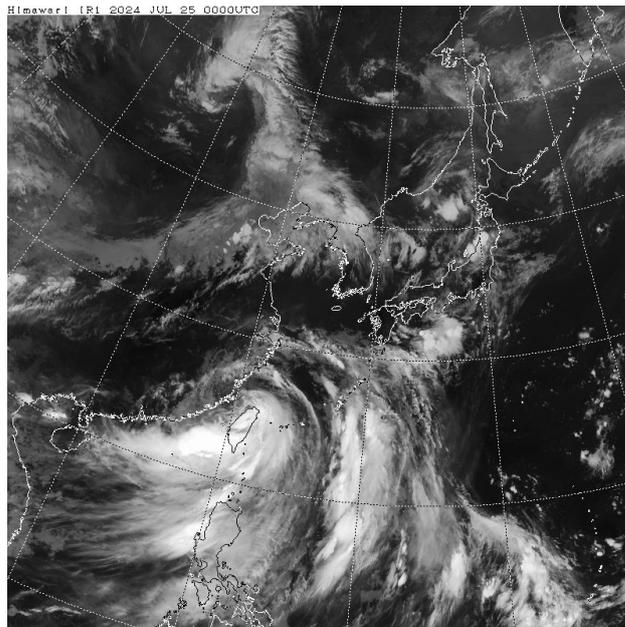
日降水量分布図 (7月24日)

・7月25日

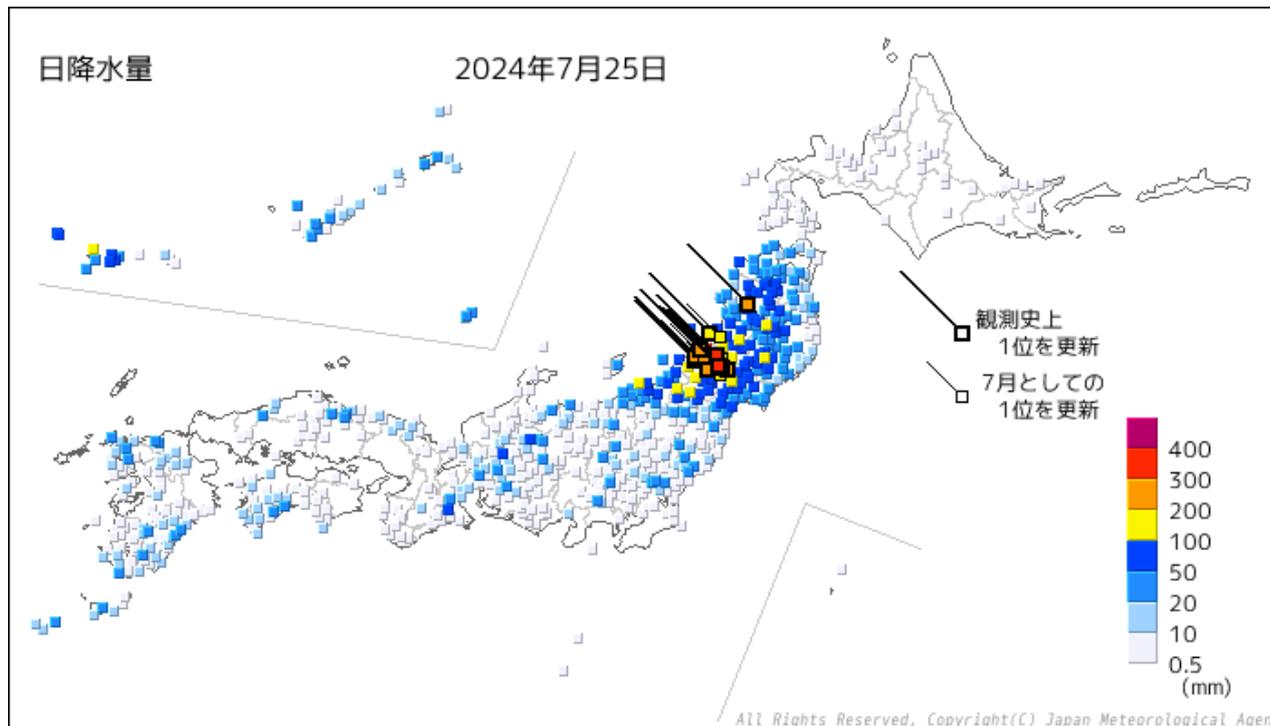
梅雨前線は日本海から北日本へのびており、前線上の低気圧が日本海を東へ進んだ。前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、北日本から西日本では、引き続き大気の状態が非常に不安定となった。東北日本海側では雷を伴った猛烈な雨が降った所があり、記録的な大雨となった。山形県では昼過ぎと夜遅くに線状降水帯が発生するなど災害発生危険度が急激に高まり、気象庁は、13時05分に山形県の一部の市町村に大雨特別警報を発表し、20時10分に一旦、大雨警報に切り替えたものの、23時40分には山形県の一部の市町村に大雨特別警報を再度発表した。



地上天気図 (7月25日09時)



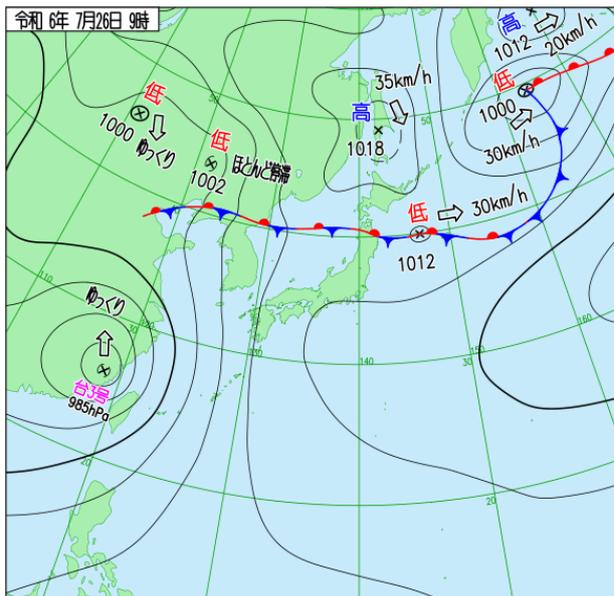
衛星赤外面像 (7月25日09時)



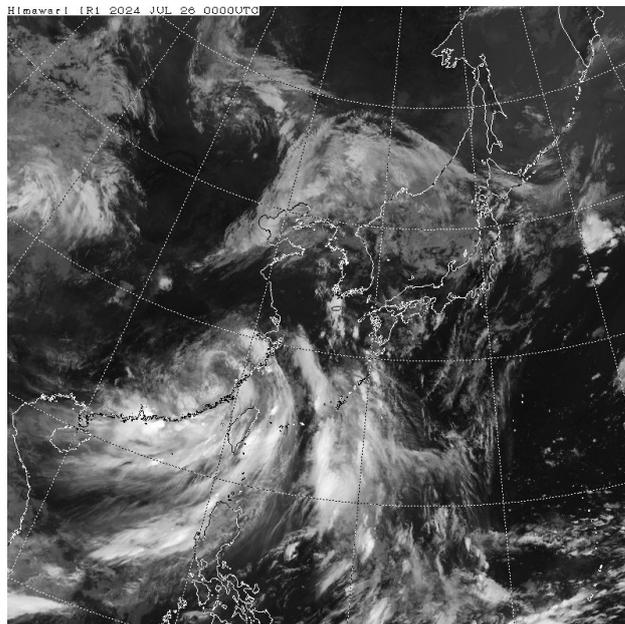
日降水量分布図 (7月25日)

・ 7月26日

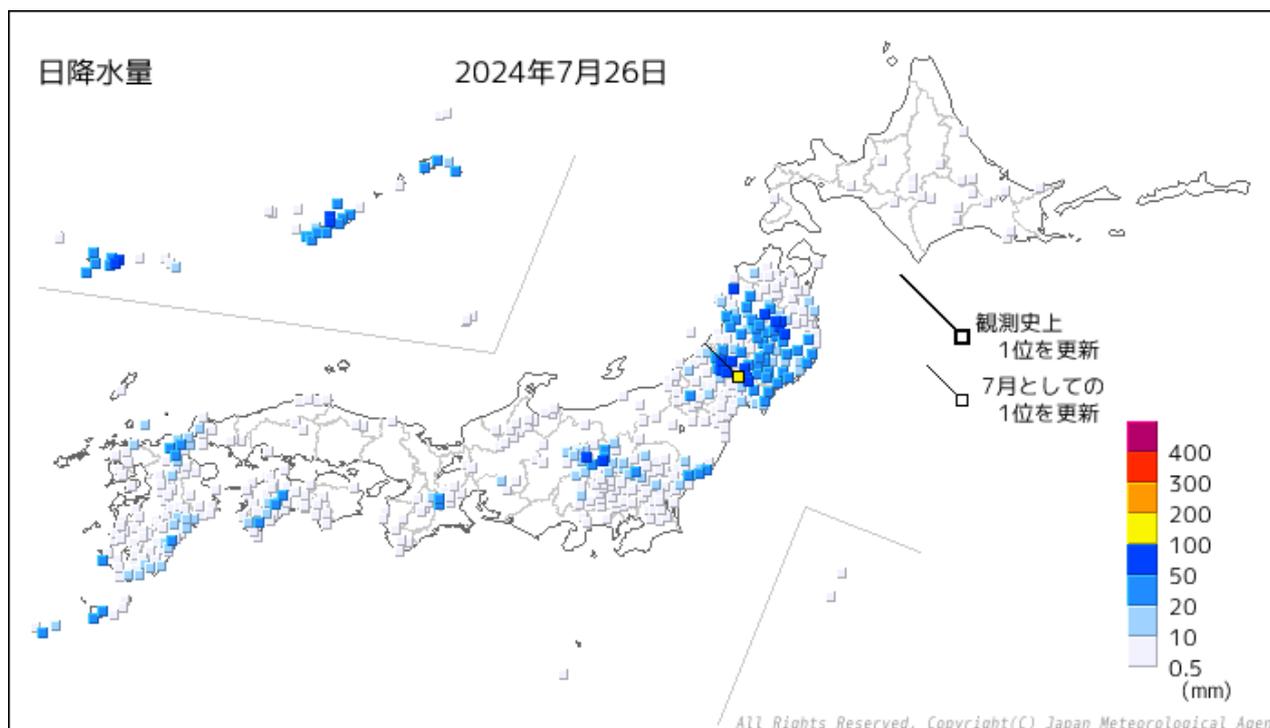
梅雨前線は引き続き北日本に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、北日本から西日本では大気の状態が非常に不安定となった。このため、所々で雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となった所もあった。



地上天気図 (7月26日09時)



衛星赤外面像 (7月26日09時)



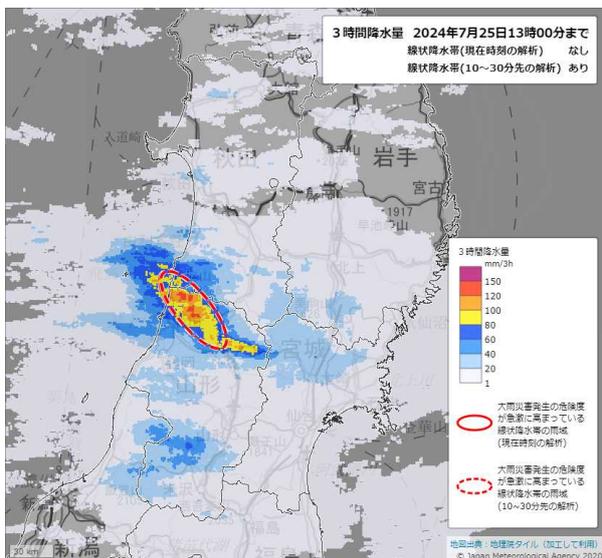
日降水量分布図 (7月26日)

## (2) キキクル（危険度分布）

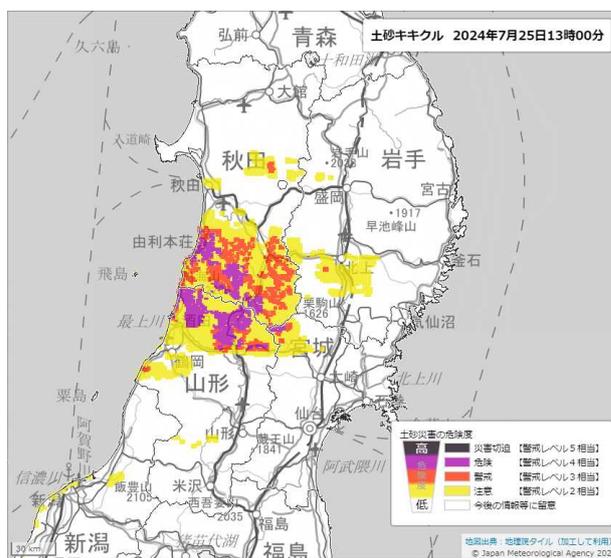
・7月25日13時00分

山形県に「顕著な大雨に関する気象情報」、「大雨特別警報」を発表する直前の3時間降水量とキキクルを示す。

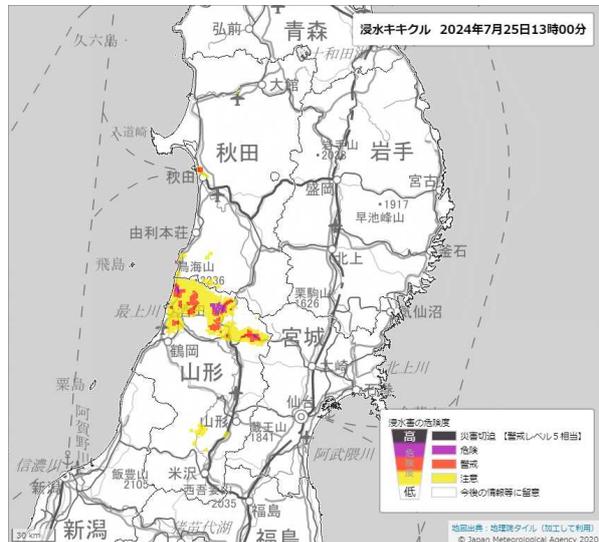
山形県や秋田県では土砂キキクルや洪水キキクルで紫（危険）が広がり、山形県では洪水キキクルが黒（災害切迫）に達した地域があった。山形県では浸水キキクルで紫（危険）となった地域もあった。



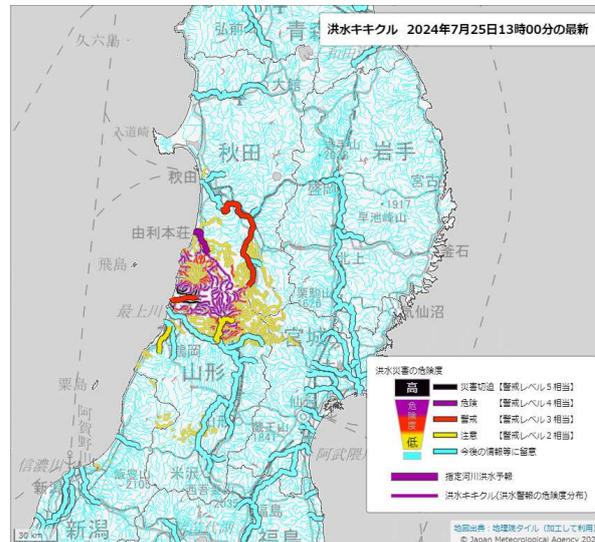
3時間降水量（解析雨量） mm/3h



土砂キキクル



浸水キキクル

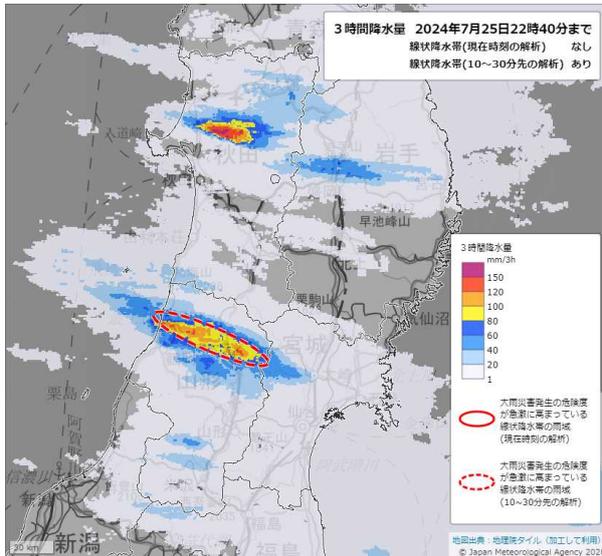


洪水キキクル

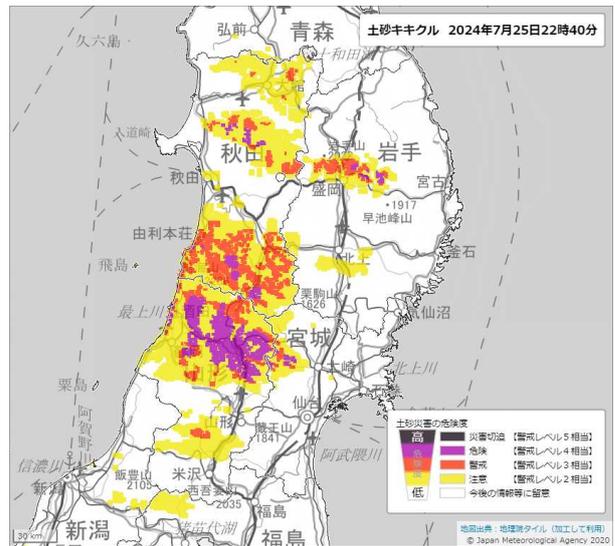
・7月25日22時40分

山形県に「顕著な大雨に関する気象情報」を発表する直前の3時間降水量とキキクルを示す。

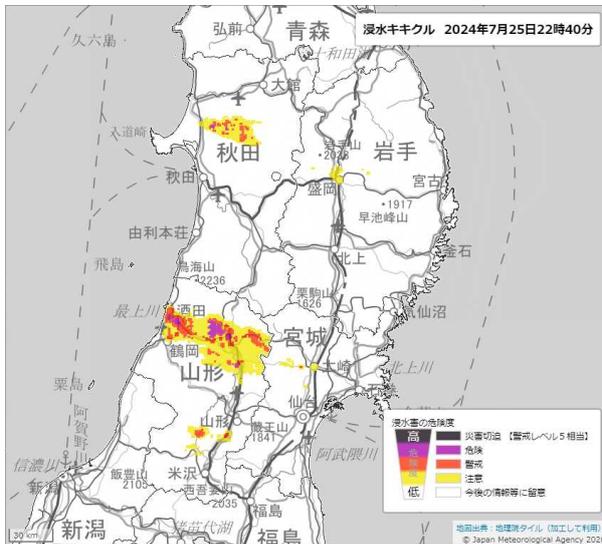
山形県では土砂キキクル、浸水キキクル、洪水キキクルで紫（危険）が広がるとともに、洪水キキクルでは一部の地域で黒（災害切迫）に達したままの状態が継続していた。秋田県では洪水キキクルで紫（危険）が広がるとともに、黒（災害切迫）に達した地域があった。



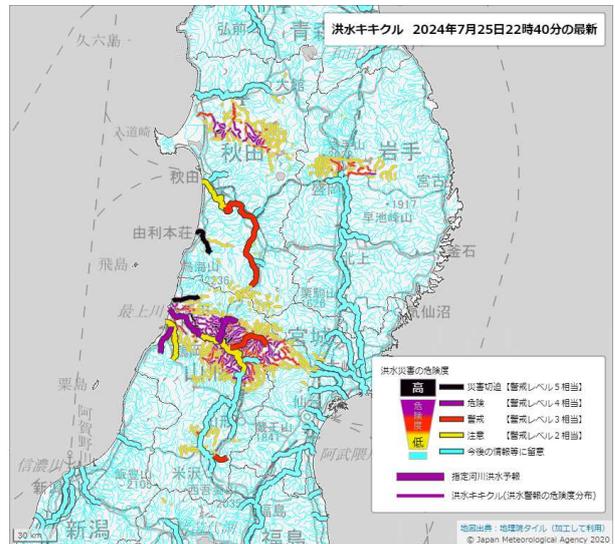
3時間降水量（解析雨量） mm/3h



土砂キキクル



浸水キキクル

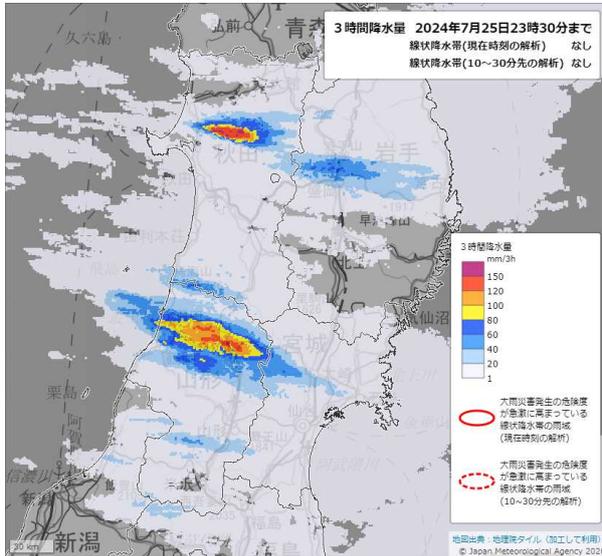


洪水キキクル

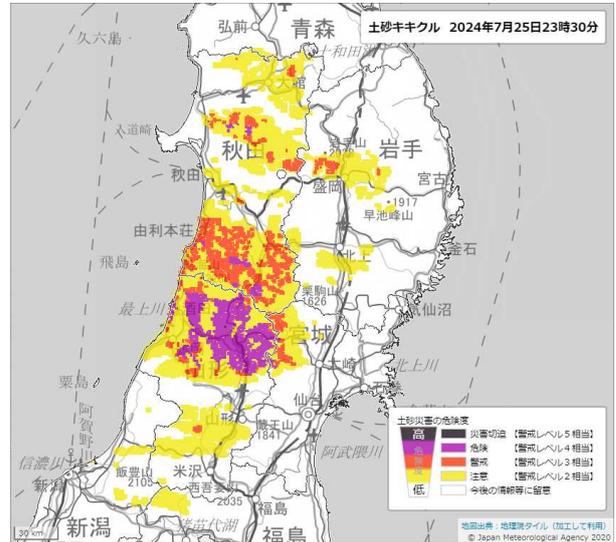
・ 7月25日23時30分

山形県に「大雨特別警報」を発表する直前の3時間降水量とキキクルを示す。

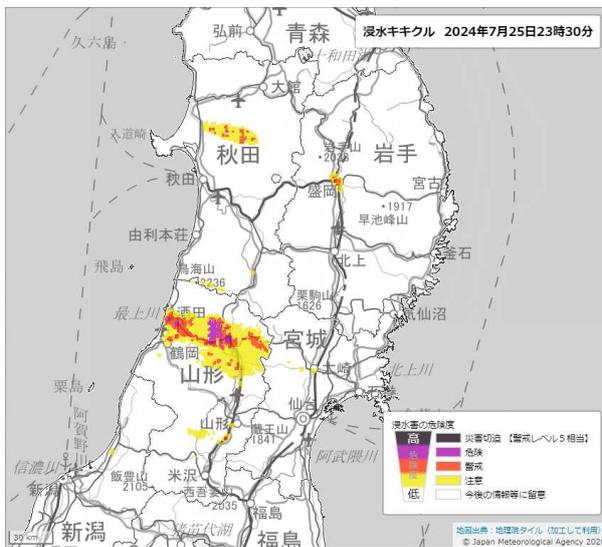
山形県では降り続く雨により、22時40分に比べて土砂キキクルや浸水キキクルで紫（危険）の地域がさらに広がり、鮭川村では土砂キキクルで黒（災害切迫）に達した地域があった。山形県、秋田県の一部地域では洪水キキクルで黒（災害切迫）に達したままの状態が継続していた。



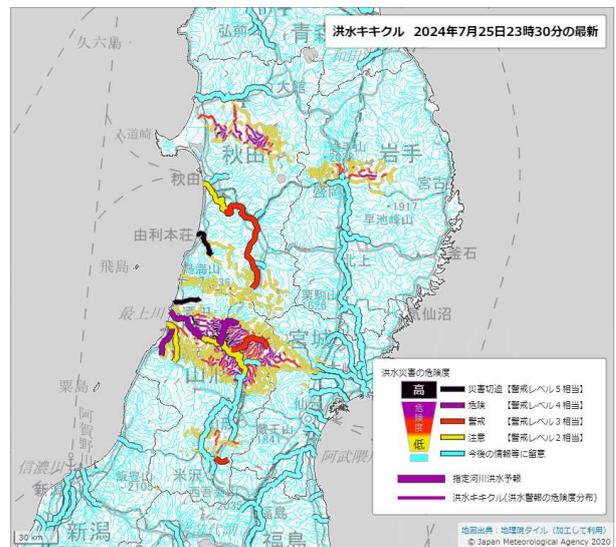
3時間降水量（解析雨量） mm



土砂キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル

## 2. 防災気象情報の発表状況

### (1) 特別警報

	発表日時	発表対象地域
1	7月25日13時05分	〔発表〕大雨特別警報（浸水害） 山形県（酒田市、遊佐町）
2	7月25日20時10分	〔特別警報から警報に切替〕 山形県（酒田市、遊佐町）
3	7月25日23時40分	〔発表〕大雨特別警報（浸水害） 山形県（酒田市、庄内町、新庄市、舟形町、戸沢村） 〔発表〕大雨特別警報（浸水害、土砂災害） 山形県（鮭川村）
4	7月26日05時50分	〔特別警報から警報に切替〕 山形県（酒田市、庄内町、新庄市、舟形町、鮭川村、戸沢村）

### (2) 顕著な大雨に関する気象情報

	発表日時	情報名	対象地域
1	7月25日13時07分	顕著な大雨に関する山形県気象情報 第1号	庄内地方、最上地方
2	7月25日22時47分	顕著な大雨に関する山形県気象情報 第2号	村山地方、庄内地方、最上地方

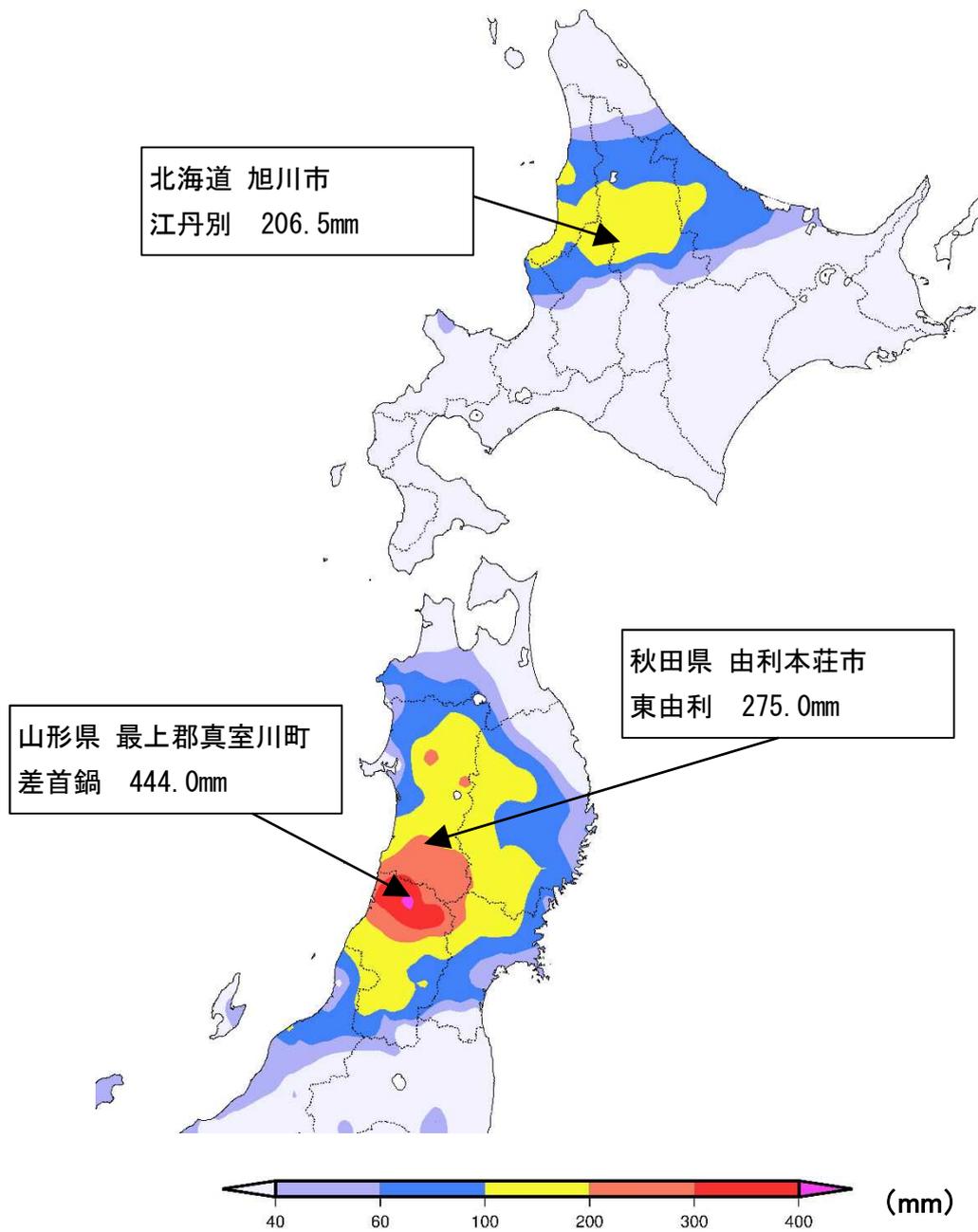
※顕著な大雨に関する気象情報は、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説したもの。この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報であり、警戒レベル4相当以上の状況で発表する。

### (3) 記録的短時間大雨情報

	発表日時	発表対象地域
1	7月25日09時13分	山形県（酒田市南部付近）
2	7月25日09時20分	山形県（遊佐町付近、酒田市北部付近）
3	7月25日21時47分	秋田県（上小阿仁村付近、五城目町付近）
4	7月25日21時56分	秋田県（上小阿仁村付近、五城目町付近）
5	7月25日22時07分	秋田県（北秋田市南部付近）

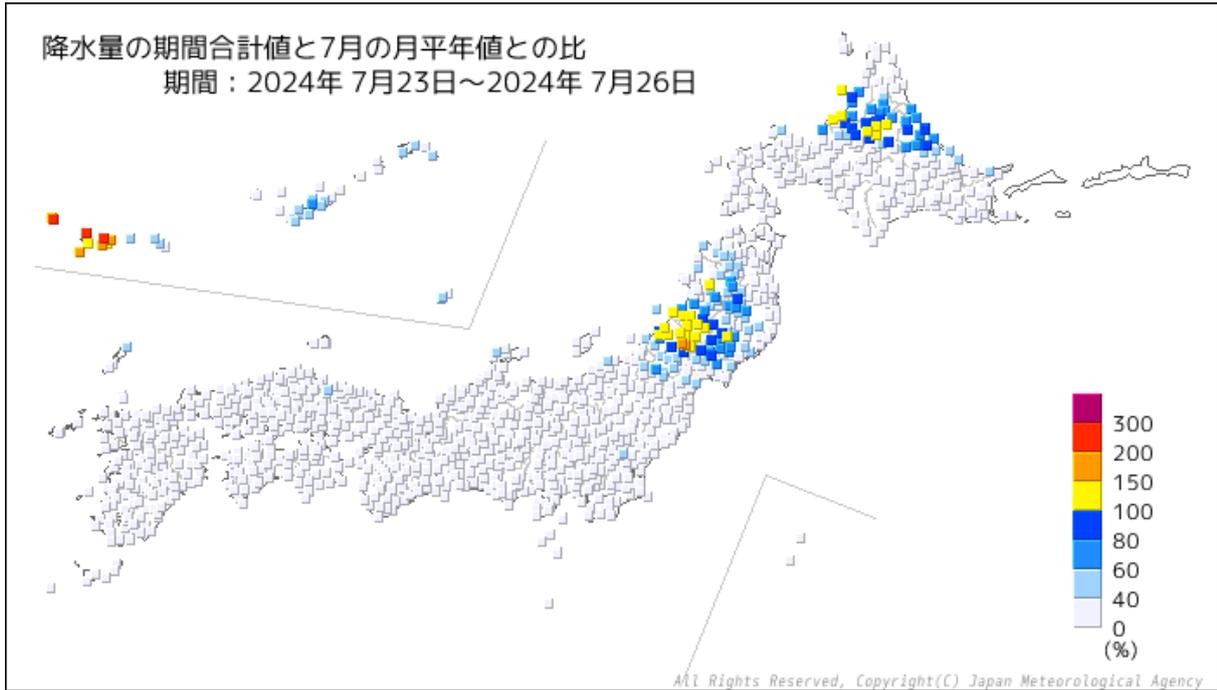
### 3. 雨の状況

(1) 降水量の期間合計値分布図 (7月23日~7月26日)



※降水量の期間合計値の多い主な3地点(地域別)

(2) 降水量の期間合計値と月平年値の比 (7月23日~7月26日)





#### 4. 降水量の多い方からの順位 10位まで（7月23日0時～7月26日24時）

降水量の期間合計値（7月23日0時～7月26日24時）

順位	都道府県	市町村	地点名（ヨミ）	期間合計値 mm
1	山形県	最上郡真室川町	差首鍋（サスナベ）	444.0
2	山形県	新庄市	新庄（シンジョウ）*	403.5
3	山形県	酒田市	酒田大沢（サカタオオサワ）	401.5
4	山形県	最上郡最上町	瀬見（セミ）	400.0
5	沖縄県	八重山郡竹富町	西表島（イリオモテジマ）*	372.0
6	山形県	最上郡最上町	向町（ムカイマチ）	337.0
7	沖縄県	石垣市	川平（カビラ）	312.0
8	山形県	酒田市	酒田（サカタ）*	304.0
9	沖縄県	石垣市	石垣島（イシガキジマ）*	282.0
10	山形県	東田川郡庄内町	狩川（カリカワ）	281.5

#### 1 時間降水量

順位	都道府県	市町村	地点名（ヨミ）	期間最大値	
				mm	年月日 時分(まで)
1	秋田県	北秋田市	阿仁合（アニアイ）	94.5	2024/7/25 22:01
2	山形県	酒田市	酒田（サカタ）*	86.0	2024/7/25 9:34
3	沖縄県	八重山郡竹富町	西表島（イリオモテジマ）*	74.0	2024/7/25 1:22
4	山形県	新庄市	新庄（シンジョウ）*	68.0	2024/7/25 22:03
5	山形県	酒田市	酒田大沢（サカタオオサワ）	67.5	2024/7/25 12:24
6	広島県	東広島市	安宿（アスカ）	64.5	2024/7/24 3:36
7	山形県	鶴岡市	鶴岡（ツルオカ）	64.0	2024/7/25 14:46
8	山形県	最上郡最上町	向町（ムカイマチ）	63.0	2024/7/25 13:00
9	秋田県	由利本荘市	東由利（ヒガシユリ）	61.0	2024/7/24 19:54
9	山形県	最上郡真室川町	差首鍋（サスナベ）	61.0	2024/7/25 9:06
9	山形県	東田川郡庄内町	狩川（カリカワ）	61.0	2024/7/25 22:14

#### 24 時間降水量

順位	都道府県	市町村	地点名（ヨミ）	期間最大値	
				mm	年月日 時分(まで)
1	山形県	新庄市	新庄（シンジョウ）*	389.0	2024/7/26 6:40
2	山形県	最上郡真室川町	差首鍋（サスナベ）	384.0	2024/7/26 4:40
3	山形県	最上郡最上町	瀬見（セミ）	382.0	2024/7/26 6:50
4	山形県	酒田市	酒田大沢（サカタオオサワ）	357.5	2024/7/26 4:20
5	山形県	最上郡最上町	向町（ムカイマチ）	329.0	2024/7/26 7:00
6	山形県	酒田市	酒田（サカタ）*	289.0	2024/7/26 4:00
7	沖縄県	八重山郡竹富町	西表島（イリオモテジマ）*	267.0 ]	2024/7/25 3:20
8	山形県	東田川郡庄内町	狩川（カリカワ）	265.5	2024/7/26 4:10
9	秋田県	北秋田市	阿仁合（アニアイ）	245.5	2024/7/26 3:10
10	秋田県	由利本荘市	東由利（ヒガシユリ）	238.5	2024/7/25 14:30

## 5. 観測史上1位の値の更新状況

### 1時間降水量 7地点

都道府県	市町村	地点(ヨミ)	最大1時間降水量		これまでの1位の値		統計 開始年
			mm	年月日時分(まで)	mm	年月日	
北海道	旭川市	江丹別(エタンベツ)	47.0	2024/7/24 3:00	43.0	2023/9/18	1977年
秋田県	北秋田市	阿仁合(アニアイ)	94.5	2024/7/25 22:01	68.0	2014/7/19	1976年
山形県	酒田市	酒田(サカタ)*	86.0	2024/7/25 9:34	77.8	1949/8/24	1937年
山形県	最上郡最上町	向町(ムカイマチ)	63.0	2024/7/25 13:00	61.0	2024/7/9	1976年
新潟県	阿賀野市	瓢湖(ヒョウコ)	42.0	2024/7/25 8:57	41.0	2021/8/23	2014年
広島県	東広島市	安宿(アスカ)	64.5	2024/7/24 3:36	59.0	2014/7/19	2010年
広島県	東広島市	志和(シワ)	56.0	2024/7/24 3:14	55.5	2014/8/6	1977年

### 24時間降水量 12地点

都道府県	市町村	地点(ヨミ)	最大24時間降水量		これまでの1位の値		統計 開始年
			mm	年月日時分(まで)	mm	年月日	
北海道	旭川市	江丹別(エタンベツ)	206.5	2024/7/24 20:10	167	2000/9/2	1977年
北海道	上川郡比布町	比布(ピップ)	172.0	2024/7/24 20:30	154]	1981/8/5	1976年
秋田県	由利本荘市	東由利(ヒガシユリ)	238.5	2024/7/25 14:30	160.0	2017/7/23	1976年
秋田県	湯沢市	湯沢(ユザワ)	210.5	2024/7/25 16:20	160	1987/8/17	1976年
秋田県	雄勝郡東成瀬村	東成瀬(ヒガシナルセ)	181.5	2024/7/25 15:40	143	1987/8/29	1976年
宮城県	大崎市	川渡(カワタビ)	195.5	2024/7/26 7:50	193	1989/8/28	1976年
山形県	酒田市	酒田(サカタ)*	289.0	2024/7/26 4:00	179.5	2011/8/18	1976年
山形県	最上郡真室川町	差首鍋(サスナベ)	384.0	2024/7/26 4:40	299.0	2018/8/6	1976年
山形県	鶴岡市	鶴岡(ツルオカ)	214.5	2024/7/26 2:30	212.5	2011/8/18	1976年
山形県	新庄市	新庄(シンジョウ)*	389.0	2024/7/26 6:40	268.5	2018/8/6	1976年
山形県	最上郡最上町	瀬見(セミ)	382.0	2024/7/26 6:50	309.5	2018/8/6	1976年
山形県	最上郡最上町	向町(ムカイマチ)	329.0	2024/7/26 7:00	263.5	2018/8/6	1976年

## 6. その他

### (1) 竜巻等突風の発生状況 (7月23日～7月26日)

番号	発生日時	発生場所	突風をもたらした現象の種類	突風の強さ 風速(階級) ※1
1	7月24日 08時00分頃	滋賀県米原市	不明	約50m/s (JEF1)
2	7月24日 08時50分頃	岐阜県加茂郡川辺町～可児郡 御嵩町～多治見市	ダウンバースト またはガストフロント	約30m/s (JEF0)
3	7月24日 11時50分頃	埼玉県入間郡越生町～草加市	ダウンバースト またはガストフロント	約40m/s (JEF1)
4	7月24日 12時30分頃	東京都武蔵村山市～小金井市 ～府中市	ダウンバースト またはガストフロント	約30m/s (JEF0)
5	7月25日 17時45分頃	栃木県佐野市	ダウンバースト またはガストフロント	約50m/s (JEF1)

対象期間に気象庁機動調査班 (JMA-MOT) による現地調査を実施した突風の事例を掲載。  
この資料は、速報として取り急ぎまとめたものを掲載しているため、後日内容の一部訂正や追加をすることがある。

※1 日本版改良藤田スケール

# (参考) 竜巻等突風の発生状況 (7月23日~7月26日)

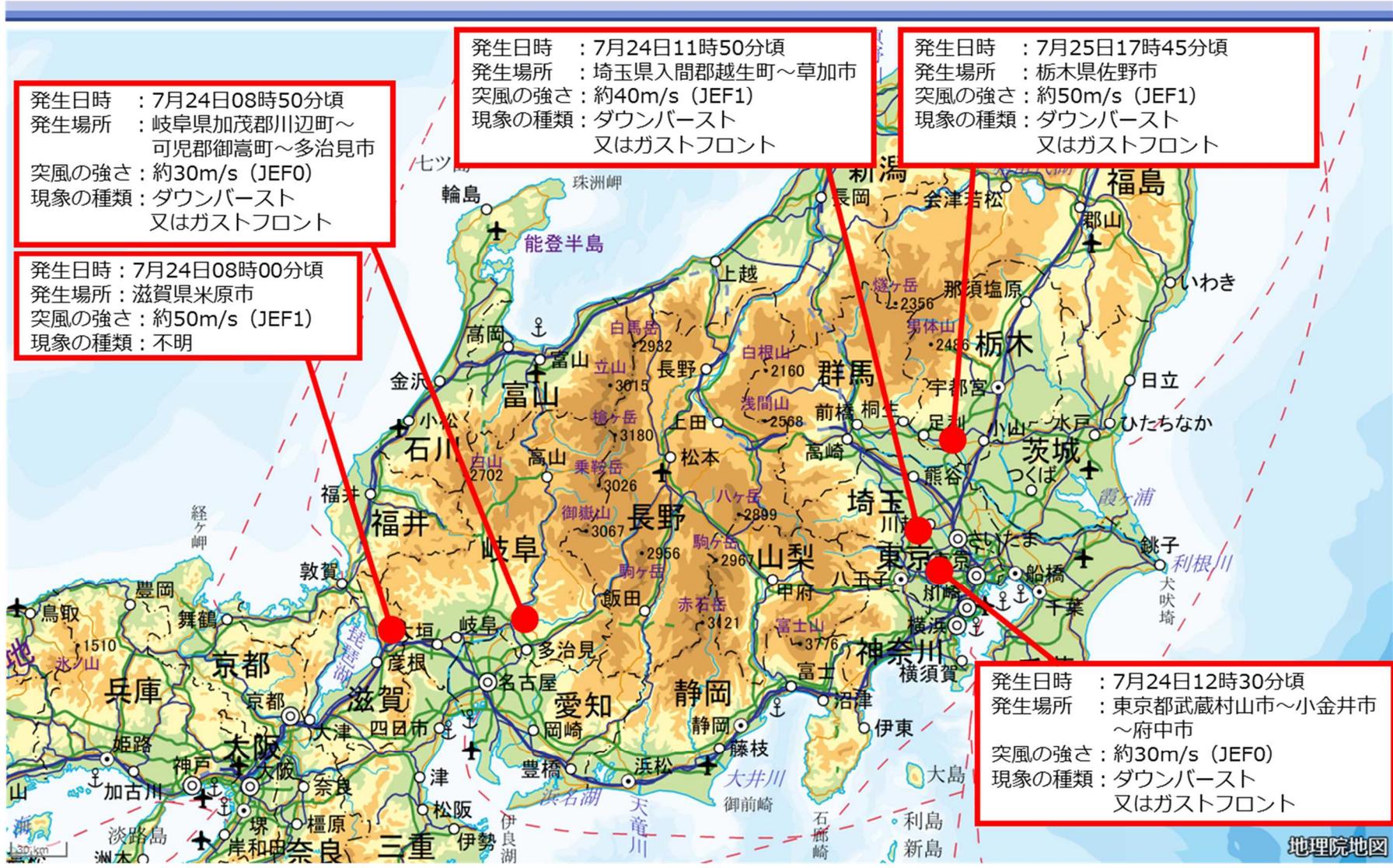
発生日時 : 7月24日08時50分頃  
 発生場所 : 岐阜県加茂郡川辺町~  
 可児郡御嵩町~多治見市  
 突風の強さ : 約30m/s (JEF0)  
 現象の種類 : ダウンバースト  
 又はガストフロント

発生日時 : 7月24日08時00分頃  
 発生場所 : 滋賀県米原市  
 突風の強さ : 約50m/s (JEF1)  
 現象の種類 : 不明

発生日時 : 7月24日11時50分頃  
 発生場所 : 埼玉県入間郡越生町~草加市  
 突風の強さ : 約40m/s (JEF1)  
 現象の種類 : ダウンバースト  
 又はガストフロント

発生日時 : 7月25日17時45分頃  
 発生場所 : 栃木県佐野市  
 突風の強さ : 約50m/s (JEF1)  
 現象の種類 : ダウンバースト  
 又はガストフロント

発生日時 : 7月24日12時30分頃  
 発生場所 : 東京都武蔵村山市~小金井市  
 ~府中市  
 突風の強さ : 約30m/s (JEF0)  
 現象の種類 : ダウンバースト  
 又はガストフロント



地理院地図

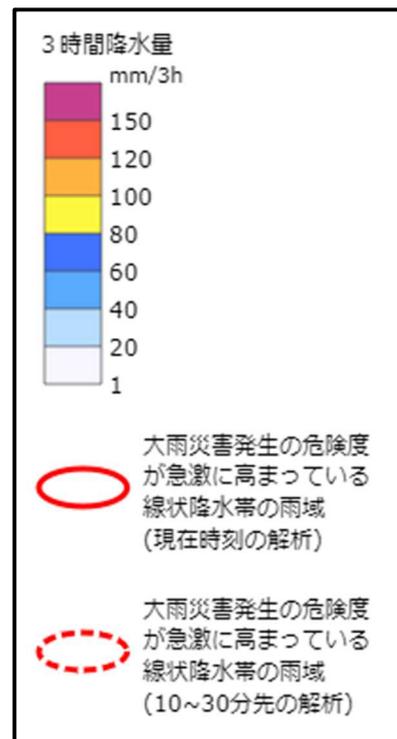
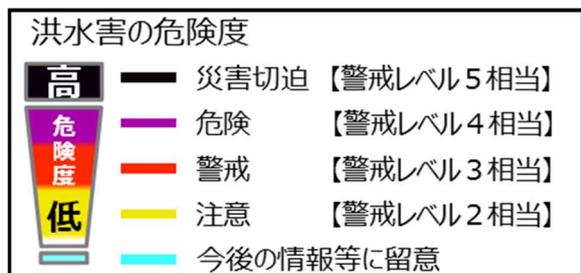
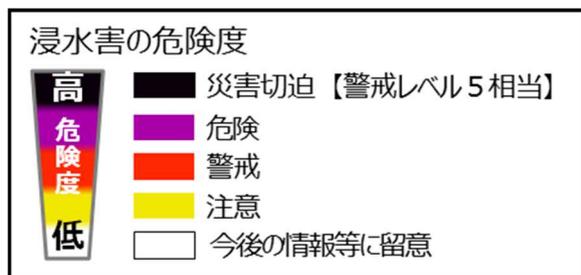
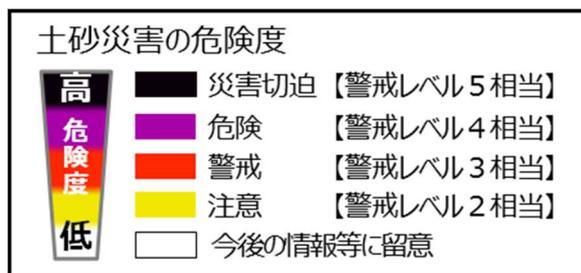
出典 : 地理院地図

## (2) 資料の説明

### ・キキクル（危険度分布）

土砂災害、浸水害、洪水災害発生の危険度の高まりを地図上で5段階に色分けして示す「キキクル（危険度分布）」を常時10分毎に更新している。雨が強まってきた時、又は大雨や洪水に関する警報・注意報が発表された時には、実際にどこでどのような災害の危険度が高まっているのか「キキクル（危険度分布）」で把握することができる。

### (凡例)



・データとデータに付加する記号の解説

表示例	意味	解説
100	正常値	統計値を求める対象となる資料が全てある値。
100 )	準正常値	統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けている、上位の統計に用いる際は一部の例外を除いて原則として正常値と同等に扱う。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なるが、全体数の80%を基準とする。
100 ]	資料不足値	統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている。値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いないが、極値、合計、度数等の統計では、その値以上（以下）であることが確実である、といった性質を利用して統計に利用できる場合がある。

・地点の種別

地点には「アメダス」と地上気象観測を行う「气象台、測候所、特別地域気象観測所」の2種類がある。

このうち气象台等の地点には「東京\*」のように「\*」をつけている。

・注意事項

この資料は気象庁で観測したデータによるものであり、令和6年9月3日現在のデータを用いている。

この資料に関する問い合わせ先：気象庁大気海洋部気象リスク対策課  
電話 03-6758-3900（内線 4256、4257）